

冬の防災特集

冬の災害に備えて

近年、冬季の異常気象により近隣の町や津別町内でも人命に関わる被害や事故が相次いでいます。決して他人事にせず、冬の災害への備えと、いざというときの対処方法について知識を深めましょう。

《ご家庭での備えと心がけ》

- ・気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは外出を避けましょう。
- ・停電に備えて懐中電灯、携帯ラジオ、電気を使わない暖房器具などの準備を



▲平成22年1月の大雪の様子

しておきましょう。

- ・F F式暖房機の給排気口が雪でふさがれないよう確認しましょう。
- ・外出できない状況に備えて食糧や飲料水などを備蓄しておきましょう。
- ・屋根への積雪は、落雪によるけがや事故、避難経路の断絶などを招くおそれがあります。また、冬季に地震が発生すると、家屋倒壊の要因にもなります。屋根の積雪は取り除くようにしましょう。
- ・暴風雪の中を除雪車両や緊急車両が往来することがあります。目立つ服装であつても非常に危険を伴いますので、視界が悪いときの外出は避けましょう。

《やむを得ず車で外出するとき》

- ・道路状況に応じた無理のない運転を心掛けましょう。
- ・冬期間は天気の急変で車が立ち往生する可能性があるため、防寒着、長靴、手袋、スコップ、スノーヘルパー、牽引ロープなどを車に常備しておきましょう。
- ・十分に燃料があることを確認するとともに、万一に備えて飲料水や非常食を用意しましょう。
- ・危険を感じたら、無理をせず最寄りの「道の駅」や「コンビニエンスストア」「ガソリンスタンド」などで天気の変更

を待ちましょう。
状況によっては「避難所」が開設されます。天候の悪化が予測される場合は「避難所」を利用してください。

《吹雪で車が動けなくなったとき》

- ・大雪や吹きだまりなどにより車が立ち往生した時は、道路緊急ダイヤル（短縮ダイヤル#9910）やJAFなどのロードサービス、近くの人家などに救助を依頼してください。また、ハザードランプを点灯させ車が目立つようしてください。
- ・避難できる場所や救助を求められる人

道内道路情報サイト・インフォメーションダイヤル	
北海道防災情報システム	https://www.bousai-hokkaido.jp
北の道ナビ	http://n-rd.jp/
道路交通情報センター インフォメーション ダイヤル	北海道地方・札幌方面 ☎050-3369-6601
	北海道地方高速情報 ☎050-3369-6760
	北見方面 ☎050-3369-6654
	釧路方面 ☎050-3369-6653
	旭川方面 ☎050-3369-6652
	函館方面 ☎050-3369-6651
携帯短縮ダイヤル（携帯電話専用） #8011	

家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡してください。
車のマフラーが雪に埋まると排気ガスの逆流により一酸化炭素中毒を起すおそれがあるので、マフラーが雪に埋まらないよう定期的に除雪し、窓を少し開けて換気を行うなどして、車の中で救助に備えてください。
車を置いて避難するときは、除雪や救助活動の妨げとならないよう、連絡先を書いたメモなどを目立つところに置き、車の鍵は付けたままにしてください。

《警報が発表されたら注意を》

■暴風雪警報

暴風雪（地吹雪）によって、重大な災害が発生するおそれがあると予想された際に発表されます。地域によって基準値が異なりますが、平均風速がおおむね風速20メートルを超え、雪を伴う場合に発表されます。

■暴風雪特別警報

数十年に一度の強さの低気圧により、風速が30〜40メートル以上にもなる暴風と雪で甚大な被害が生じることが想定される場合に発表されます。

■大雪特別警報

数十年に一度の積雪がある状態で、さらにまとまった降雪があると予測される場合に発表されます。

問い合わせ先

総務課庶務係
☎76-2151（内線208）

地方創生の取り組み 38

今のままの津別が良い

様々なワークシヨップなどを行う中で「今のままの津別が良いよね」という声が多く挙げられます。一方で、津別町における人口の将来予測では、10年後の2030年には人口が今より1000人近く減少するとされています。結果として、様々なサービスの維持、労働力の確保などが難しくなってくるのが予想されます。人口の減少を完全に止めることは難しいかもしれませんが、今のままの津別を将来に残していくためにも、人口減少に対応したまちづくりへの転換が迫られています。

北海道型ワーケーションポータルサイトが公開になりました

昨年11月に北海道が実施主体（実務等は民間会社へ委託）の「北海道型ワーケーション導入検討・実証事業」に参加し、首都圏から5企業6名が実際に来町してテレワークや町内でのアクティビティなどを体験いただくという内容で受入を実施したところですが、今年度も同事業を北海道が実施主体として実施を継続しています。今年度については新型コロナウイルスの影響により首都圏からの往來を自粛している中でしたので実際の受け入れには至りませんが、次年度以降の継続的な取り組みに向け、本事業参加の39自治体とともに受け入れ環



▲ポータルサイトのイメージ

境の整備を実施しており、その一環として本Webページを作成し、公開に至りました。ページ内では北海道型ワーケーションに係る説明や、参加自治体の紹介ページ、モデルルートや周遊プランなどが作成され、公開されていきます。また、申込手順等のページも作成される予定であることから北海道型ワーケーションについて知り、申込みまでを完結できるページとなっております。ポータルサイト内は未公開のページも存在しておりますが、今年度中に完成し、本格公開となる予定です。当町のページについても未完成な部分がある中ですが、本取組を通じた関係人口の創出に向けて準備を進めていきます。

北海道型ワーケーションポータルサイトはこちら
https://hokkaido-work-vacation.com/



QRコードが読み込める機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。

市街地総合再生基本計画推進協議会の議事録を公開しました

これまで2回（9月7日、10月19日）にわたり開催してまいりました。津別町市街地総合再生基本計画推進協議会の第1回会議の議事録を、津別町のホームページ上で公開いたしました。今後、会議資料や、第2回会議の議事録についても順次公開してまいります。また、役場1階ロビー、さん館、中央公民館でも閲覧ができるように冊子の設置準備を進めてまいります。今後、第3回会議の開催日

市街地総合再生基本計画HP
http://www.townstsubetsuhokkaido.jp/20machizukuri/sousei/tsubetsu_shigaic-hi_sougousaisei.html



QRコードが読み込める機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。

問い合わせ先
住民企画課企画係
☎76-2151（内線241）
e-mail: tsubetsusousei@gmail.com

《津別町空き家バンクの利用状況》

※10月末現在

・登録物件数		
建 物	貸したい	5件
	売りたい	11件
土 地	どちらでも	3件
	貸したい	0件
土 地	売りたい	17件
	・物件を探している登録者数	
建 物	借りたい	18名
	買いたい	27名
土 地	どちらでも	12名
	借りたい	0名
土 地	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。
https://www.tsubetsu-estate.com/

【問い合わせ先】

北海道つべつまちづくり株式会社
移住・定住サポートデスク ☎77-6081